

令和2年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題


子どもの保健

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) … 

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、「保育所保育指針」第1章「総則」2「養護に関する基本的事項」(2)「養護に関わるねらい及び内容」の記述の一部である。(A)～(D)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 家庭との連携を密にし、嘱託医等との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、(A) 安全な保育環境の維持及び向上に努める。
- ・ 食事、排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にすることなどについて、子どもが(B) 生活できるよう適切に援助する。
- ・ 一人一人の子どもが(C) 共に過ごし、心身の疲れが癒されるようにする。
- ・ 一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら、(D) 触れ合いや言葉がけを行う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	清潔で	安心して	元気で	楽しい
2	明るくて	安心して	触れ合って	積極的な
3	保健的で	意欲的に	くつろいで	応答的な
4	保健的で	活動的に	触れ合って	応答的な
5	清潔で	活動的に	くつろいで	積極的な

問2 次の文は、被虐待児に生じやすい特徴に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 体重増加不良や低身長がみられる。
- B 知的発達に阻害される。
- C 自己評価が高い。
- D 記憶障害がみられる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問3 次の文は、運動機能の発達に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 随意運動が発達することで、左右・上下分離した動きができるようになる。
- B 非対称性緊張性頸反射は、生後10か月頃までみられる。
- C 90%以上の子どもがひとりすわりが可能になるのは、7～8か月頃である。
- D スキップができるようになるのは、5歳頃である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問4 次の文は、子どもの生理機能の発達に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 新生児・乳児の呼吸は、肋間筋による腹式呼吸が主である。
- B 循環機能は、出生後呼吸を開始することで、動脈管、卵円孔、静脈管の短絡経路が閉じ、肺循環に変化する。
- C 乳幼児は成人と比べると不感蒸泄が少なく、腎機能が未熟なため、水分の必要量が多い。
- D 新生児はレム睡眠の割合が多く、成長するに伴い少なくなる。
- E 免疫グロブリン IgG は胎盤を通過し、1歳頃まで感染防御に寄与する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	○	×	×	○
3	×	○	×	○	○
4	×	○	×	○	×
5	×	×	○	○	×

問5 次の文は、乳幼児期の一般的な身体発育に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 生理的体重減少は、新生児期にみられる。
- B 平均体重は、1歳頃に出生時の約2倍になる。
- C 大泉門は、生後3か月では閉鎖していない。
- D 乳歯は、1歳までに生えそろう。
- E 軟骨が形成され骨化することが繰り返される。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	○
2	○	○	×	×	×
3	○	×	○	×	○
4	×	○	×	○	×
5	×	×	○	○	○

問6 次の文は、子どもの健康観察に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A いつもと様子が違うことに気づいても、子どもの健康状態は、体温、呼吸、心拍数といった数値的な評価のみで判断する。
- B 低年齢の乳幼児では、泣き声や泣き方、機嫌、元気、顔色は重要な観察項目である。
- C 低体温の子どもがいた場合、家族の生活習慣や睡眠の乱れについても確認する。
- D 腹痛を訴えるときは、腹部症状以外を観察する必要はない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問7 次の文は、アレルギー疾患の対応に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 遊べない、話せない状態の気管支喘息発作の場合には、すぐに医療機関を受診する。
- B アトピー性皮膚炎の子どもが運動をして汗をかいた後は、ほてりが冷めてから、汗を拭くようにする。
- C 保護者が持参した「エピペン®」は、子どもの手が届かず、職員がすぐに取り出せるところに保管しておく。
- D 職員全体で、食物アレルギーを有する子どもの給食提供の手順を把握し共有する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問8 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

M君（2歳、男児）は、給食中に、数個のじんま疹が出現し、軽度のかゆみを訴えた。保育士は、M君の既往にアレルギーはないことを把握していたが、食物アレルギーの症状と判断した。

【設問】

M君への保育士の対応として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 速やかに食事を中断させ、他の職員を呼んだ。
- B M君を安静にできる場所に移動した。
- C 5分ごとに症状の変化を観察した。
- D M君がかゆみを強く訴えたので、遊びで気を紛らわした。
- E じんま疹が全身に広がったので、さらに注意深く観察を続けた。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	×
2	○	○	○	×	×
3	○	×	×	×	○
4	×	○	×	×	○
5	×	×	○	○	○

問9 次の文は、発疹がみられる感染症の特徴的な症状に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 溶連菌感染症では、口の周囲に発疹がみられる。
- 2 川崎病では、いちご舌の症状がみられる。
- 3 伝染性紅斑の発疹は、レース様である。
- 4 突発性発疹は、高熱後に発疹が現れる。
- 5 水痘の発疹は、小紅斑、丘疹、水疱、痂皮化が混在する。

問10 次の文は、けいれんに関する記述である。不適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 乳児では、激しく泣くときに、けいれんを起こすことがある。
- B 熱性けいれんを再発した子どもは、発作後すぐに救急車を呼ぶ。
- C けいれん予防のために、医師の指示により発熱時に座薬を用いる場合がある。
- D けいれん発作が起きた時は、顔を天井の方に向けあごを上げて気道を確保する。
- E 初めてけいれんを起こした場合は、できるだけ早く医療機関を受診する。

(組み合わせ)

- 1 A C
- 2 A E
- 3 B C
- 4 B D
- 5 D E

問 11 次の文は、予防接種に関する記述である。(A) ～ (E) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

予防接種は (A) という法律に基づき、定められた期間であれば無料で接種できる (B) と、自費で各自の判断で受ける (C) の2種類がある。保育士が知っている近年的変更点としては、2014 (平成 26) 年 10 月より (D) が (C) から (B) に変更されたことである。

乳幼児を対象とした予防接種は種類が多く、早いものでは生後 (E) から接種可能であるので、かかりつけ医と個別に相談しながらスケジュール管理を行うことが大切である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	母子保健法	義務接種	推奨接種	麻疹	6 か月
2	学校保健法	義務接種	任意接種	ポリオ	3 か月
3	予防接種法	定期接種	不定期接種	風疹	6 か月
4	予防接種法	定期接種	任意接種	水痘	2 か月
5	母子保健法	義務接種	不定期接種	風疹	2 か月

問 12 次の文は、乳幼児の身体発育と発達の評価に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- | | | | |
|---|------------------------------|---|---|
| A | 改訂日本版デンバー式発達スクリーニング検査 | — | 「個人—社会」、「微細運動—適応」、「基本的習慣」、「粗大運動」の4領域をみる |
| B | 遠城寺式乳幼児分析的発達検査
(九大小児科改訂版) | — | 母親に質問した結果から精神発達をみる |
| C | パーセントイル発育曲線 | — | 身体の大きさの傾向をみる |
| D | カウプ指数 | — | 身長と体重のバランスをみる |
| E | 幼児の身長体重曲線 | — | 肥満とやせをみる |

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	○	×	×	×
3	○	×	○	○	×
4	×	○	×	×	○
5	×	×	○	○	○

問 13 次の文は、保育所における危機管理に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「ハインリッヒの法則」に基づき、ヒヤリ・ハット報告を行うことは重大事故につながらないように事前に改善策を考えるうえで役に立つ。
- B 「SHELLモデル」は事故を予防する分析方法であり、様々な角度から事故の要因を検証・分析することが重要である。
- C 「PDCAサイクル」で検討し、持続可能な対策を立てることで、事故を継続的に回避する。
- D 「保育所保育指針」において、災害への備えとして、定期的な設備の安全点検、定期的な避難訓練の実施が記載されている。
- E 「園庭ハザードマップ」を作成すると、安全点検をした結果が可視化され、職員間で注意箇所を共有することができる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	×	○
3	○	×	×	○	×
4	×	○	○	×	○
5	×	×	×	○	×

問 14 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

Kちゃん（4歳、女兒）は、外遊びが好きな子どもであるが、午前中は室内で過ごしていた。昼食時、Kちゃんが突然泣き出したので、保育士が声をかけると、すぐに泣き止み笑顔を見せたが、体温は38.0℃、寒気を訴えた。吐き気、嘔吐の訴えはなかった。

【設問】

Kちゃんに対する保育士の対応として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保護者には連絡をせず、通常の保育が終了する時間までKちゃんを別室に移動させ、安静に過ごすようにした。
- B わきの下と首の付け根を冷やした。
- C 保育所に常備していた解熱剤を内服させた。
- D 水分は、本人が飲みたいだけ与えた。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	×	○
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問 15 次の文は、子どもの応急処置に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 鼻出血は、親指と人差し指で小鼻（キーゼルバッハ部位）の部分を圧迫する。
- B 骨折の応急処置後、痛がる場合は保温する。
- C 誤飲が疑われる場合は、誤飲したと思われるものが入っていた容器を持参して受診する。
- D 火・熱による熱傷部位には、消毒薬や軟膏、市販薬の使用はしない。
- E 頭をぶつけた場合は、速やかに救急車を要請する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	○
2	○	○	×	×	○
3	○	×	○	○	×
4	×	○	○	○	×
5	×	×	×	×	○

問 16 次の文は、乳幼児の心肺蘇生法に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 胸骨圧迫の速さは、1分間に130回以上とする。
- B 胸骨圧迫の深さは、胸の厚さの約3分の1が沈み込む程度とする。
- C 呼吸があっても普段通りの呼吸でない場合は、ただちに胸骨圧迫を開始する。
- D 乳児の人工呼吸は口対口とする。
- E AEDの小児用パッドがない場合は、成人用を用いてもよい。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	×	○
2	○	×	○	○	×
3	×	○	○	×	○
4	×	○	○	×	×
5	×	×	×	○	○

問 17 次の文は、「保育所における感染症対策」に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育所における感染症対策は、一人一人の子どもの健康管理という視点と、集団生活における感染予防としての視点から対応する。
- B 接触感染対策では、手洗い等により手指を清潔に保つことが最も重要である。
- C RSウイルス感染症の流行期は、保育所では0歳児と1歳以上のクラスを互いに接触しないように離し、交流を制限する。
- D 正しい手洗いの方法は、石けんと流水を使って15秒間洗う。
- E 咳やくしゃみが出そうになった場合に、マスクやハンカチが使えない時は、長袖や上着の内側で口や鼻を覆う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	○
2	○	○	×	○	×
3	○	×	○	×	○
4	×	○	○	○	×
5	×	×	○	×	○

問 18 次の文は、乳児への保健的な対応に関する記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 頭を上下左右に激しく揺さぶらない。
- B 首がすわる前は、首の後ろを支えた抱き方とし、おんぶはしない。
- C 冷凍母乳と人工乳はどちらも飲み残しは保存せずに処分する。
- D 3歳以上の歯みがきは、養育者の仕上げみがきは不要である。
- E 1歳まではベビーバスでの沐浴とする。

(組み合わせ)

- 1 A B C
- 2 A D E
- 3 B C D
- 4 B C E
- 5 C D E

問 19 次の文は、保育所における事故防止と安全対策に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 園外活動時の子どもの服装について、安全性、子どもの体調、天気や気温等への配慮といった観点から確認し、衣服の調節を行う。
- 2 プール活動や水遊びを行う際、監視者も子どもと一緒にプールや水の中へ入り、子どものプール指導を行いながら監視することが重要である。
- 3 食事中の誤嚥防止のため、子どもに急に大声で注意をして驚かせることは避ける。
- 4 誤飲チェッカーを用いて保育室にある玩具をチェックし、窒息の危険性のあるものは置かない。
- 5 事故の発生防止に向けた環境づくりには、職員間のコミュニケーションが不可欠である。

問 20 次の【Ⅰ群】の地域の子育て支援事業と【Ⅱ群】の事業内容を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 乳児家庭全戸訪問事業
- B 養育支援訪問事業
- C 地域子育て支援拠点事業
- D 産前・産後サポート事業

【Ⅱ群】

- ア 公共施設や保育所、児童館等の地域の身近な場所で、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等を行う。
- イ 生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供、養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供につなげる。
- ウ 妊娠・出産、子育てに関する悩み等に対して、子育て経験者や、保健師、助産師、保育士等の専門職等が、不安や悩みを傾聴し、相談支援（寄り添い）を行う。
- エ 子育てに対して不安等を抱える家庭や養育支援が必要な家庭に対して、子育て経験者等による育児・家事の援助又は保健師等による指導助言等を訪問により実施する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ |
| 2 | イ | ウ | エ | ア |
| 3 | イ | エ | ア | ウ |
| 4 | ウ | ア | イ | エ |
| 5 | エ | ア | ウ | イ |